



西尾いきものふれあいの里だより

8月号

2026.8.1 発行

さとやま

8月の里といきもの

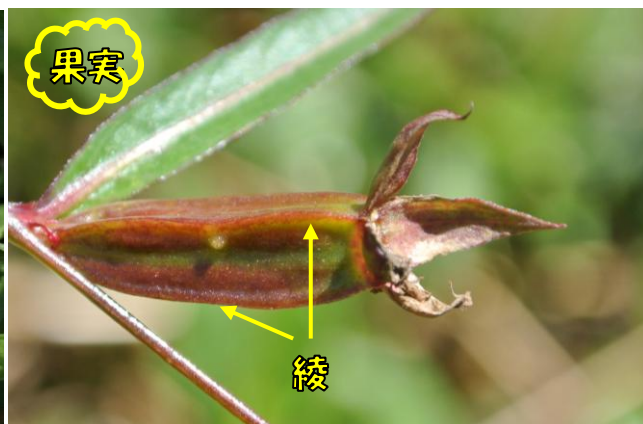


今年の梅雨明けは平年より少し遅くなりましたが、梅雨明け前から30℃以上の真夏日や35℃以上の猛暑日が続きました。気象庁では今年から、最高気温が40℃以上の日を「酷暑日」と呼ぶことになりました。8月にはそんな日もあるのかもしれません。

里の田んぼでは5月に植えられた**イネ**（イネ科）に穂が出る季節になりました。そこには田んぼ特有の雑草が見られます。

アカバナ科の1年草**ヒレタゴボウ**は、熱帯アメリカ原産の外来種で、湿地を好みます。草丈は50～100cm程になります。茎の断面が四角形、3～4つの稜（りょう）があり、稜に沿って翼状の「ひれ」が発達します。ひれが硬いので、コンバインの稲刈りを妨げます。ひれがあり、水田に生えるゴボウのような草というのが名の由来です。花は直径2～3cmと比較的大きく、4枚の花弁が鮮やかな黄色で、夏～秋に咲きます。

果実は、長さ1～2cm、四角形で、4つの稜があります。中に非常に細かい種子が多数ぎっしり入っていて、付近に広がる、繁殖力旺盛な植物です。



ミズアオイ科の1年草の**コナギ**は、水深が浅く、光がよく当たる場所を好みます。ミズアオイ（古名：ナギ）に似ていて小さいことが、名の由来です。

草丈は、10～30cm程度で、水中に白い細根を多数伸ばします。葉はハート形でつやがあり、葉柄が長く、基部が膨らんでいて、水面に浮くように広がります。

花は、紫～青紫色で花被片は6枚あります。直径1～1.5cm程ととても小さく、葉柄の付け根あたりのやや隠れた位置につきます。朝に咲き、昼にはしぼむことが多いため、葉はあっても花はなかなか見つけれません。

葉が大きく群生すると光を遮り、稲の分けつ（株別れ）を妨げたり、窒素含有量が高いため、必要とする窒素を奪われ、稲の初期生育が抑えられやすいなどの問題点があります。

マメ科の1年草**クサネム**は、ネムノキに似た羽状複葉（小葉が多数）で、マメ科特有の黄色い小さな蝶形の花をつけます。葉は、触れる・揺れるなどの刺激で閉じる性質があります。ネムノキのように夜必ず閉じるわけではないようです。



草丈が稲と同じ高さまで伸び、収穫作業の妨げになります。果実は豆のさやの形をしています。しかし、熟しても他のマメ科のさやのようにはじけるのではなく節ごとにばらばらに分かれます。中には一つつつ豆が入っています。以前この豆が買った米に混じっていたことがありました。米と同じくらいの大きさなので、そんなことがあるそうです。

アゼナ科の1年草**アメリカアゼナ**は、その名の通り北アメリカ原産の外来種です。最近数が減っている在来種**アゼナ**は、葉のふちにギザギザがなく、葉柄がありません。里で見られるものほとんど繁殖力が強いアメリカアゼナのようです。



地面に密着して広がるため、除草が難しく、節から根を出して増えるため、面状に広がり、田面を覆ってしまいます。

こんな田んぼの雑草たちにも目を向けて下さい。

8月はこないきものも見られます

田んぼの水面には、サトイモ科の1年草、**ウキクサ**に交じって、少し大きなイチョウの葉のような形のものがみつかることがあります。これは、絶滅が危惧されている、ウキゴケ科の**イチョウウキゴケ**で、ウキクサは種子植物ですが、イチョウウキゴケはコケ植物です。

石垣では、オトギリソウ科の多年草**オトギリソウ**の花を見ることができます。お昼を過ぎるとしぼんでしまいますので、午前中に探しましょう。万灯山にも生えていますが、環境の変化のためか最近花が付きません。



ウキクサ



イチョウウキゴケ



オトギリソウ



タカサゴユリ



ノカンゾウ



センニンソウ

ビオトープ上の池付近には、多数の白いユリが咲きます。これはユリ科の多年草、台湾原産の外来種**タカサゴユリ**です。在来種の**テッポウユリ**より葉が細く、花筒の外側に紫褐色の筋模様が入ること、真夏に咲くことで見分けられます。

その近くでは、オレンジ色のユリのような花が咲きます。こちらはツルボラン科の多年草、**ノカンゾウ**の花です。一日花で、朝に咲いて夕方にはしぼみますが、次々とつぼみが開花するため、株全体では1か月ほど咲き続けます。

田んぼエリア入り口などでは、キンポウゲ科のつる性木本、**センニンソウ**の白い花が、雪が降り積もったように咲きます。名前は、花の後の果実の姿から付きました。

トンボの里などで、マメ科のフジの仲間のつる性落葉木本、**ナツフジ**の白っぽい花が咲いているのを見かけることがあります。

里のあちこちでよい香りに誘われて目にするのは、**クサギ**の変わった形の花です。シソ科の落葉小高木で、葉の方は傷つけるとビタミン剤のような独特のにおいがあり、それが名の由来です。

長円寺では、翅の先が黒い少し小さめの赤とんぼ、**リスアカネ**が現れます。動物のリスではなく、スイスのトンボ学者の名前に由来しています。



ナツフジ



クサギ



リスアカネ

気温が高く、里の散策も大変ですが、この時期にしか逢えないいきものたちを探してみてください。

6月の行事紹介



「初夏のキノコ観察会」を6月28日（日）に開催しました。

梅雨入りして雨が続き、前日までの雨が残る小雨の中での開催となりました。でも、キノコ観察には好都合。湿った地面や枯れた木などで、白いキクラゲなど 20 種類以上のキノコを採取することができました。

採取してきたキノコを一か所に集めて、講師からキノコの種名や特性など教えてもらい、ルーペや顕微鏡を使い楽しいキノコ観察の時間を過ごすことができました。

8月の行事予定

2日（日）	里山の小川でいきものを探そう	30名	AM 9:30～11:30	神 本 晃
-------	----------------	-----	---------------	-------

内容 ～山から湧き出る水は里山の水田にも使われていて、里山では大切な小川です。

このきれいな川にどんないきものが棲んでいるか、タモを使って採取し、観察します。

23日（日）	シーグラスを使ってペンダントづくり！	20名	AM 9:30～11:30	三矢由紀子
--------	--------------------	-----	---------------	-------

内容 ～ 海でピンが何年もかけて変身したシーグラス。佐久島であつめたシーグラスを世界で一つだけのペンダントに変身させましょう。（材料費:200円）

9月の行事予定

6日（日）	楽しい絵手紙	20名	AM 9:30～11:30	市川百合子
-------	--------	-----	---------------	-------

内容 ～ 白いハガキからはみ出すくらいに、絵を大きく書きます。野原のかわいい花や動物・魚たちを、心をこめて描くときっと送る相手に喜んで頂けます。（材料費:100円）

20日（日）	草木染～植物から色をいただく～	20名	AM 9:30～11:30	磯貝はるみ
--------	-----------------	-----	---------------	-------

内容 ～ 日本で昔から行われてきた草木染。

身近な草木を用いて、キッチンでもできる、草木染めにチャレンジしてみましょう。（材料費:300円）

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下の場合**は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。小さいお子さまには、目を配るのに**十分な保護者の同伴**をしてください。
- ◇ **当日の天候により**、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休 日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28～1/4] ◆発 行 西尾市環境部 環境保全課